

チューリッヒ日本人学校

学校だより

2009年6月30日

6月号 NO3

JAPANISCHE SCHULE IN ZÜRICH

発行責任者 島田清人

ピュント校・クレメアッカー校との交流学習

本校の現地理解教育（国際理解教育）の一環として、小学部3～6年（5月末）、1・2年（4日）はピュント校に、また中学部2・3年（26日）はクレメアッカー校に出向いて現地校との交流学習を行いました。

小学部（3～6年）は“アート”（図工）の授業でした。切り取った蝶の形の縁に塗ったクレパスを、指先で台紙上に伸ばすときれいな蝶が出来ます。グループ内で助け合いながら作業を進め次々と蝶が飛び立ちました。

1・2年は、図工の授業で「ミサンガ」（願いが叶う）を作りました。二人で組になり、助け合って作り上げたミサンガを腕や足首に付け、とてもうれしそうでした。

中学部2・3年は、今回は体育の授業でした。チーム対抗のスポーツゲームや大きなボールを使った運動を行いました。

布の上にしゃがみロープをつかんだ一人の生徒を、チーム内の他の生徒が引っ張って速く運ぶゲームや一人ひとり走って行ってはカードをめくり、指定された順番に合うカードを持ち帰るゲーム、南京袋に両足を入れ、ジャンプしながら速さを競うゲーム等、楽しみながらの体力づくり（運動）でした。

次回は本校において交流学習を予定しています。

<子どもの作文より>

- ・はじめきんちょうしたけれど、やっているとおもしろくなりました。（小学部3年）
- ・ちょうのりんかくを書くように言われたみたいだけれど、わからなかった時、横の人が少しだけわかる英語で言ってくれました。（小学部6年）

第1回講話会「スイスは何が得意？ 日本は何が得意？」

～スイス・日本の貿易とJETROの役割～

今年2月に、日本・スイス自由貿易・経済連携協定が結ばれたのを機に、是非専門家の方から話を伺いたいと思っておりました。



本年度 最初の講話会に、日本貿易振興機構（ジェトロ）
ジュネーブ事務所長 渡辺道明さんをお招きすることができ
ました。

日本とスイスの貿易振興のため、地道な仕事をしている人
たちがいることを理解できたのではないかと思います。

児童生徒代表がお礼の中で「日本人として誇りを持って頑
張りたい。」と述べた言葉に力がこもっていて、とても印象的
でした。

<児童・生徒の作文より>

○スイスのフランス語けんでは時計がとくいで、ドイツ語けんではふくを作るのがとくいで、イ
タリア語けんでは、ふくのデザインがとくいということがわかりました。（小学部3年）

○今まで私は貿易について興味がありませんでした。でも、今回の講話会で日本とスイスのかか
わりや工業製品などのことを知って興味を持ちました。もっとたくさんを知りたいと思
いました。また、日本の貿易は品質が良いけれど、ねだんが高くて買えないという国の人たちに日
本のものを買ってもらおうと、もっとうまく貿易ができると思いました。（小学部6年）

○私は日本に住んだことがなくずっとスイス育ちです。日本に行くと「何故 日本のものはこん
なに優れているのに、スイスで見かけないのだろうか」と思いました。でも、渡辺さんの話で何
となく分かりました。私もスイスと日本のかけ橋になる仕事につきたいです。（中学部2年）



交通安全教室

6月12日（金）にチューリッヒ州警察署交通係のマッ
チンガー氏にお越しいただき、交通安全教室を実施しました。

講義ではビデオを見て説明を聞き、自転車の正しい乗り方
やルール、スイスの標識、スケートボードやキックボードの
乗り方や自動車の内輪差等について教えていただきました。
講義の後、1・2年は横断歩道の渡り方を、3年以上は自転
車の乗り方やルールについて学んだことの実地訓練を行いま
した。

黄色のチョッキを着て、受信機から聞こえてくる通訳の中
山さんの注意を聞きながら、ロータリーでは、中央を一直
線で走り、左折時には、手信号を出して中央に寄り、前方を
確認し曲がることを緊張しながら実践しました。



子ども達は、車の走る道路を自分で判断しながら、真剣に訓
練をしていました。

スイスは自転車専用道路が整備されていますが、複雑な交差
点では、手前の横断歩道を自転車を押しながら渡るのが安全で
しょう。

低学年生活科校外学習

小学部1・2年は、「切符の買い方」「駅の利用の仕方」「イチゴ摘み」「みんなで行動する」という生活科の学習でユッカ農場へ行きました。前日まで天気がぐずついており心配しましたが、子ども達の作った「てるてる坊主」の願いが天まで届き、良い天気になりました。Aathal 駅（ユッカ農場の近くの駅）からの急な上り坂では、途中で休憩をとりました。



湖の見えるイチゴ畑でのイチゴ狩りや草やサクランボを食べさせてさわれるようになった山羊とのふれあいやトランポリン遊びが、とても楽しかったようです。帰校後、子ども達は、貴重なイチゴを先生方にあげていました。

<子どもの作文>

- ・いちごがいっぱいとれて、いっぱい食べられてよかった。赤くておいしかった。
- ・やぎとなかよしになって楽しかったです。
- ・トランポリンがすごくはねて楽しかった。

だるまさんが転んだ

久しぶりに太陽が戻ってきた16日の昼休み、執行部主催で小学部1年から中学部3年まで校庭で「だるまさんが転んだ」を楽しみました。

「だるまさんがお風呂に入った」「だるまさんがご飯を食べた」・・・鬼に言われた動作をすばやくします。動作が遅れて動いているのを鬼に見られると鬼に捕まってしまいます。

フェンスの反対側でのんびり休んでいた牛がだるまさんにつられて？走り出したのが、微笑ましかったです。



「おにごっこ 隣の牛も 走り出す」

* スイス(ウスター)のあるお宅の庭で「だるまさんが転んだ」に似た遊びをしているのを見ました。遊びは世界共通なのですね。

<7月の行事>

日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	サマーキャンプ出発((小5~中3年)	6	月	安全点検
2	木	サマーキャンプ出発(小3・4年) 低学年遠足(小1・2年)	8	水	職員会議
5	日	中学部学力テスト	10	金	1学期終業式

* 2学期始業式：8月17日(月)

学級目標

どんなときでもハッピーライフ
前への歩みを忘れるな

子どもの様子

新学期が始まって、すでに3ヶ月近くが経ちました。今年は、5, 6年という異学年が同じクラスメートとして一緒に

に学校生活を送る状況でスタートしています。前から知っている顔も新しく入ってきた顔も、ずっと前からいるように仲良く学校で過ごしています。今年は、クラス遊びを多く取り入れていきます。日直さんが遊びを考えて、みんなでそれを楽しむ事にしています。毎回違うネタを考えようとする姿勢には感心させられますが、5, 6年みんなで楽しい時間を作り出そうとする雰囲気を感じ取られることを担任として嬉しく思っています。

担任として気をつけたいこと

一年間子どもたちに意識して欲しいと思っていることは、「安心、自立、協力」の3点です。まずは、自分が安心して学校で過ごさせているかどうか自分で分かるようになって欲しいと考えています。自分の心のセンサーに敏感になり、今自分にとって大事なものを、必要なものを見極める力を養って欲しいと願っています。次は、生活面でも学習面でも、自分でできることは自分でやることです。自分の力でやり遂げたことは、自分自身の大きな力となります。心も体も大きく成長する時期ですから、子どもたちには、自立の範囲を大きく広げるようなことにチャレンジして欲しいと願っています。最後に、今年は異年齢集団として、お互い気持ちよく協力して学校生活を送れるかしっかりと指導したいと考えています。自分一人ではできないけど仲間がいるからできること、協力する喜びのあるクラスを子どもたちとともに作っていきたくと思っています。

以上3つの点にこだわって、子どもたちにたくさん考える場面を作っていきたいと思います。時にはうまくいかないこともあり、それを乗り越えるには苦労もあるかもしれません。楽しいことばかりではなく、苦いことも含めて、子どもたちと一年の終わりに、よく頑張ったなあと自分をほめ、仲間をたたえ、自分たちで決めた学級目標の達成を喜び合えるように、1日1日取り組んでいきます。様々な場面で、お家からご協力いただくことがあるかと思いますが、どうぞ一年間よろしくお願いします。



中学部 1・2 学年 学級経営方針

(6月現在時点では2学年のみ)

学級担任：増田 慎一

新学年が始まって3ヶ月経ちました。5名の生徒は皆個性豊かで、笑い声や遊んでいる声が絶えません。意見がぶつかったり、行動を注意し合うことも日常よく見られる光景ですが、明るく伸び伸びと生活していることが多いです。個人としても集団としても現状からさらに成長していけるように生徒ともども努力していきたいと思っています。

学級目標

学級目標『自由の中でステップアップ!』は生徒たちが決めました。生徒たちは、“自由”を「何でも好き勝手にやっていいこと」と解釈するのではなく、“自由”を得るためには、様々な制限や皆のことを考えて行動するという責任が伴うことを学んでいます。難しいこととは思いますが、1年間共に生活しながら“真の自由”を個々のものに、そして学級のものにすることを目標にしています。

学級目標を実現するための最初のステップとして

- 信頼し合える仲間を作っていこう。
(困っている仲間に手を差し伸べ、仲間に頼ることができる人間関係を築こう)
- 相手の思いをくみ取る努力をし、相手のことを考えて話をしよう。
- 自分の考えを大切に、皆のために自分の考えを述べていこう。
- 自分の意見だけに固執するのは止めて、色々な考えに耳を傾けよう。

という4つを皆で考え出しました。これを様々な場面で確認し、今の自分たちよりもさらに認め合うことができ、心通じる仲間になっていくことを目指していきたいと考えています。

担任の思い (目指す子どもの姿)

①力を合わせ、気持ちを一つにして活動していける集団に

②友達の良さを見つけようとする生徒に

③友達の成長を認められ、それを喜ぶ生徒に

④正しいことは何かを考え、正義を追求していける学級に

⑤自分たちで考え、判断し、行動していける学級に

⑥テストに向けた学習姿勢と、普段の学習習慣を大切にできる生徒に

- ・授業を大切にすることを高める。
- ・定期テスト前に計画的に学習を進める意識を高めさせたい。

